

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計申送り事項 No.45	審査会合 (2019/9/5)	-	設置許可 まとめ資料 4条	弾性設計用地震動Sdの設 定について	4条-別紙19- 添1-3	Sd-1の設定の考え方は審査実績が無いものであり、Sd-1の応答スペクトルは一部周期でS1の応答スペクトルを下回っていることから、Sd-1の適用性については詳細設計段階において、新旧設計体系の違いを踏まえて対象を適切に選定した上で、説明性向上の観点からSd-1とS1の比較照査を行い、要因分析すること。	2022/12/12	制御棒の挿入性及び原子炉補機冷却ポンプを代表として、建設時工認における基準地震動S1による耐震評価結果と今回工認における弾性設計用地震動Sd-1による耐震評価結果を比較し、差異の要因を分析しました。	NS2-補-027-14「弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較」P.1~4	分類【D】

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/12/12	NS2-補-027-14	補足説明資料	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.1	概要について、当該資料のみでも検討内容及び背景が分かるよう、呼び込みの関連図書の内容を踏まえて記載を拡充して説明すること。	2023/2/1	Sd-1の適用性について説明性向上の観点から実施する本検討の位置づけ及び背景について、「1.概要」及び「2.島根2号機における弾性設計用地震動の設定方法及び検討の背景」に関連図書の内容を踏まえて記載を拡充しました。	NS2-補-027-14改01「弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較」P.1.2	
2	2022/12/12	NS2-補-027-14	補足説明資料	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.1	概要の「建設時工認」と「今回工認」の評価手法の違いの主要な点について、建物側の解析も含め、機器系への影響の観点で比較表を用いて差異を明確化して説明すること。	2023/2/1	機器・配管系の耐震評価に係る新旧設計体系の主な相違点について、建物側の解析も含め、比較表形式で資料に追記しました。	NS2-補-027-14改01「弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較」P.7	
3	2022/12/12	NS2-補-027-14	補足説明資料	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.3.4	建設時工認の質量を今回工認評価に適用していない設備(原子炉補機冷却水ポンプ等)を明確化して補足説明資料にて説明すること。	2023/2/27	NS2-補-023-02改03「耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について」にて説明	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～12については、NS2-他-261改01で整理済みのため省略。						
13	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.2	制御棒挿入性と燃料集合体のうち制御棒挿入性を代表とした旨を追記しました。	2023/4/7	
14	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.3	「入力地震動算定モデル」を追記しました。	2023/4/7	
15	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.4	表番号について、誤記を修正しました。	2023/4/7	
16	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.4	S1とSd-1(基本ケース)による床応答の最大加速度に差異が生じた要因についての考察を追記しました。	2023/4/7	
17	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.4	今回工認の設計震度設定について、Sdによる応答加速度を1.2倍していることを本文と表に追記しました。	2023/4/7	
18	NS2-補-027-14改02	弾性設計用地震動Sd-1及び基準地震動S1による機器・配管系の耐震評価結果の比較	P.7	鉛直方向地震力の項目について、記載を適正化しました。	2023/4/7	